



## 子どもをマスクから解放しよう！

マスクはお子様の健全な心身の発達を妨げます。



マスクを長時間つけることで、



呼吸の酸素濃度が低下し、  
知能の発達に影響が出る

めまい、視力低下、  
集中力低下を引き起こす

ウイルス性肺炎や、  
細菌性肺炎の温床になる

情緒不安定、免疫力低下、  
頭痛、皮膚疾患のリスク

大人にも同じ危険があります！

無症状者から感染させるというデータは無い。

無症状者から感染させるというデータは、あるのかと厚生労働省に電話で聞きました。そのようなデータは厚生労働省において、ありませんという回答でした。嘘だと思う方はご自分で電話してくださいね！ 厚生労働省 03-5253-1111 (代表) メディアのウソに騙されないようにしましょう。

私たちは、新生活様式に反対です。

世界中で新型コロナウイルスの噂の情報に抗議するデモが行われています。

海外では500名を超える医師、科学者、弁護士が「世界医師連盟」として立ち上がりました。今後、30箇所デモが予定されています。

**重要** そもそも新型コロナウイルスは、同定されていません！ (存在が証明されていない)

QRコードから医師連盟の様子が見れます。



## マスク着用と脳への影響について

「私たちは、人間の脳が酸素不足に非常に敏感であることを知っています。例えば海馬には、酸素がないと3分以上も生きられない神経細胞があります。」

(マスク着用の)急性の警告症状としては、頭痛、眠気、めまい、集中力の低下、反応時間の低下、認知システムの反応低下などがあります。しかし、慢性的な酸素欠乏になると、それらの症状はすべて消えてしまいます。しかし、あなたの効率は損なわれたままで、脳内の酸素不足は進行し続けます。

神経変性疾患(\*)は、発症するまでに数年から数十年かかるとわかっています。今日、あなたが電話番号を忘れたとしても、脳の故障は20年前、30年前にすでに始まっているはず。マスクをつけて自分の吐く空気を再呼吸することに慣れてきたと思っている間に、酸素不足が続くと脳内の変性プロセスが増幅されていくのです。

※神経細胞の構造や機能が欠落する現象で、神経細胞死などの脳内環境変容によって認知症などの認識障害を発症するもの

第二の問題は、脳内の神経細胞が正常に分裂できないことです。

ですから、数ヶ月後に自由に酸素を吸えるようになったとしても、失われた神経細胞はもう再生されません。消えたものは消えてしまうのです。



ロンドンの神経内科医 MD PhD  
マーガレット・グリーズブリソン博士  
[Dr. Margarite Griesz-Brisson]